§7.7.6 管きょ更生工法

(1) 自立管
1) 反転工法
① ＡＲＩＳライナー工法
② インシュフォーム工法
③ ＳＧＩＣＰ－Ｇ工法
④ ＳＤライナー工法＜Ｆ＋ＶＥ＞
⑤ エポフィット工法
⑥ Ｋ－２工法
⑦ Ｃ－ＯＮＥ工法（Ｓタイプ）
⑧ Ｃ－ＯＮＥ工法（Ｇタイプ）
⑨ Ｔｗｏ－Ｗａｙライニング工法
⑩ ホースライニング工法
2) 形成工法
① ＡＲＩＳライナー工法（p.342 参照）
② アルファライナー工法
③ アルファライナーＨ工法
④ ＥＸ工法
⑤ インシチュフォーム工法（p.343 参照）
⑥ ＳＧＩＣＰ－Ｇ工法（p.344 参照）
⑦ ＳＤライナー工法<F+VE>（p.345 参照）
⑧ ＳＤライナーⅡ工法＜Ｇ＋ＶＥ＞
⑨ ＦＦＴ－Ｓ工法
⑩ オールライナー工法
⑪ オールライナーＺ工法
⑫ オールライナーＭＨ工法
⑬ オメガライナー工法
⑭ パルテムＳＺ工法
⑮ ポリエチレン・コンパクトパイプ工法
⑯ Ｊ-ＴＥＸ工法
3) 製管工法
① ＳＰＲ－ＳＥ工法

(2) 複合管
1) 製管工法
① ＳＷライナー工法
② ＳＰＲ工法
③ ＳＰＲ－ＮＸ工法
④ クリアフロー工法
⑤ ３Ｓセグメント工法
⑥ ストリング工法
⑦ ダンビー工法
⑧ パルテム・フローリング工法
⑨ ＰＦＬ工法
⑩ ＳＳＬ工法

(3) さや(鞘)管
1) さや(鞘)管工法
① ＳＳＬ－Ｌ，Ｖ工法
② エスロンリフトイン工法

【解説】

当協会より工法紹介のヒアリングを実施した結果、本マニュアルへの掲載を希望された工法は上記のとおりである。次頁以降にその特徴等を紹介する。

最新の工法紹介については、各工法協会のホームページ等を参照のこと。

⑯Ｊ－ＴＥＸ工法（J-TEX Method）

１．概要

Ｊ－ＴＥＸ工法は，光硬化の技術を使用した形成工法に分類される本管用の管更生工法である。SORS Liner を，マンホールから既設管内に引込み挿入し，専用治具（パッカー）を上下流端部に取り付け，空気送風機（ブロワ）により空気を送り込んで拡径し，光照射装置（ＵＶチェーン）を更生材料内に挿入する。再び空気送風機によって空気を送り込み，更生材料が既設管内面に密着して規定圧力に達したことを確認したのち，光照射装置によって樹脂を硬化させて所定の強度と耐久性を有した更生管を形成する。

２．特徴

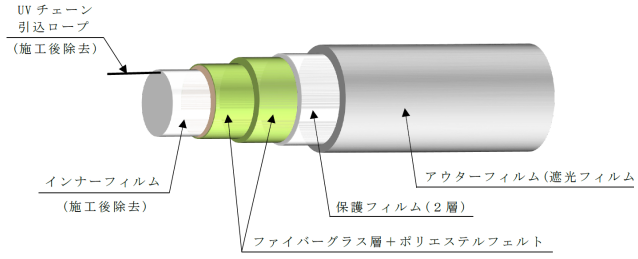
①材料の保管期間は，6 ヶ月～12 ヶ月
　突然の施工中断でも材料の保管が可能
②塩ビ管への適用が可能
③作業時間の短縮と現場設備の縮小により，
　現場経費の削減と作業員の負担を軽減
④狭小な進入路でも施工可能
⑤硬化時に管内状況を確認しながら施工可能
⑥空気送風機による安全な圧力上昇が可能

３．適用範囲

管種】鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管，陶管，硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管
管径】呼び径 150～800（鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管）
　　呼び径 150～600（硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管，陶管）
施工延長】呼び径 150～500　　70 m（実績）
　　呼び径 600～800　　110 m（実績）

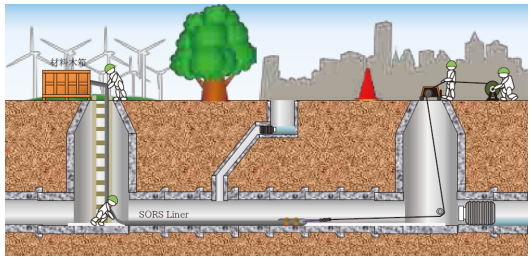
４．使用材料

特殊に編み込んだ耐酸性ガラスクロスとガラス繊維に光硬化性樹脂（不飽和ポリエステル樹脂）を含浸した SORS Liner を使用する。

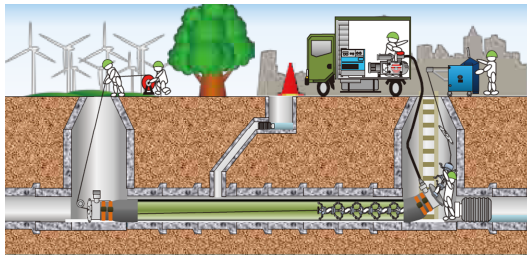


５．施工方法

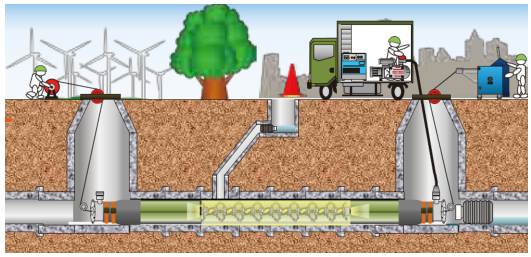
①引込工：人孔から既設管内に更生材料を引込みます。

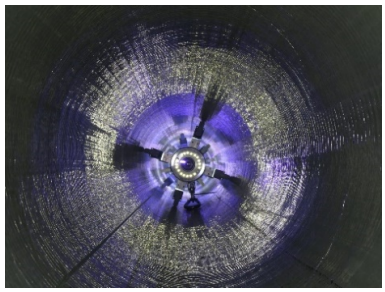


②挿入工・拡径工：空気送風機で拡径して，UV チェーンを挿入します。



③光硬化工：光照射しながら所定の速度で牽引して樹脂を硬化します。





６．技術審査状況

日本下水道新技術機構の建設技術審査証明
取得：2021 年 3 月

７．問合せ先

Ｊ－ＴＥＸ工法協会
福島県福島市泉字道下 15 番地
TEL/ FAX：024－559－2658
E-mail：jimukyoku@j-tex.jp